



若基小だより

第5号 令和2年6月4日

文責 校長 本村 一浩

■人と人がつながる学校に

学校は、人が集う場所です。まずは学級で同学年の児童が、そして6つの異学年が、さらに地域のコミュニティの中核として多くの人が来られます。この長所を存分に生かし、若基小の児童を、人の中でより良く成長させたいと考えています。

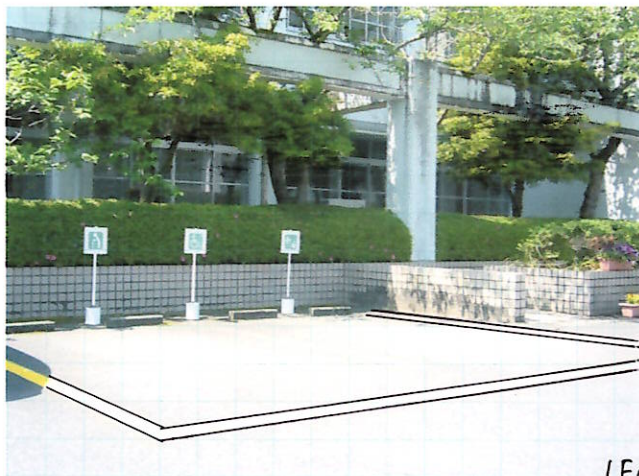
本校には、伝統の「けやきタイム」があります。異学年の児童がグループを組み、共に清掃活動をがんばったり、共遊したりします。先週5/28(木)にグループ開きがありました。違う学年の友達との出会いがあり、子供たちはとても嬉しそうでした。この活動のキーワードは、「思いやり」と「憧れ」です。上級生は下級生のことを思いやって優しい言動を心掛ける。下級生はそんな上級生を目にして、あんなふうになりたいと憧れる。この互恵性のある関係が、児童の心を育てています。

5/28の昼は、さっそくのたてわり掃除でした。まだ慣れない年生と、上級生に教わりながら張り切って掃除していました。年間を通して行われる、このたてわり活動で、人とつながる喜びと共に高め合う喜びを感じて成長してほしいのです。



↑けやきタイムのひとま。車座になり、自己紹介しています。

←上級生のリードのもと、嬉々として無言掃除をがんばっています。



…… 関連して、人に優しい学校に ……

← 誰もが来校しやすくするため、職員玄関横、スロープの直近にハンディキャップのある方用の駐車スペースを整備しました。

今年度末までにトイレをすべて洋式化します。→ 1Fの多目的トイレも刷新し、人に優しいトイレになります。



■ コロナウイルスによって、人と人との関係を断ち切らせないために

新型コロナウイルス感染症に関するお願い
～人権への配慮といじめ防止について～

基山町教育委員会
基山町立若基小学校

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症について、誤った情報による感染者、医療関係者、外国人の方等に対する差別やいじめ等が危惧されています。

新型コロナウイルス感染症を理由とする差別やいじめ等の防止のためには、まずもって、子どもたちを支えていく大人が、新型コロナウイルス感染症についての正しい認識を持つことが大切であると考えます。

不確かな情報に惑わされ、人権侵害につながるものがないよう、国や地方公共団体などの公共機関が発信する正しい情報を入手するように努めていただき、家庭や地域においても、正しい理解と認識が得られるようにお話し合ってください。

また、子どもたちの小さな変化に気づき、差別やいじめに関わる心配等がある場合は、家庭だけで悩まず、学校の先生方や保護者も利用できる窓口にご相談してください。

新型コロナウイルス感染症に関しての不当な差別やいじめ等は絶対にあってはなりません。保護者の皆様には、子どもたちが安心して学校生活が送れますよう、ご理解とご協力をお願いします。

【相談窓口】

- 心のテレホン 0952-30-4989 (24時間)
- いじめホットライン 0952-27-0051 (24時間)
- 24時間子供SOSダイヤル 0120-078-310 (24時間)
- 子どもの人権110番 0120-007-110 (平日8:30~17:15)

※ 日本赤十字社のホームページから転載しています。ウイルスによって体がピンチになるだけでなく、不安・差別によって心がむしばまれるピンチをうまく表していると思います。敵はウイルスであって人ではありません。助け合っていきなさいものですね。

